

令和 5 年 6 月 21 日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

請願第 1 号に関する調査特別委員会
委員長 神谷 嘉栄

委員会審査報告書

第 524 回定例会において、本委員会に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定しましたので、会議規則第 77 条の規定により報告します。

記

事件の番号	付託年月日	件名	審査の結果	委員会の意見
請願第 1 号	令和 5 年 3 月 7 日	沖縄の非軍事化と東アジアの協調 岸田内閣に対する意見書の採択を求める請願	採択	願意は適当と認める

令和5年6月21日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

請願第1号に関する調査特別委員会
委員長 神谷 嘉栄

委員会審査報告書

本請願は、第524回議会定例会(令和5年3月議会)において、「請願第1号に関する調査特別委員会」が設置された後に、付託されました。

審査事件は、「令和5年請願第1号 沖縄の非軍事化と東アジアの協調 岸田内閣に対する意見書の採択を求める」請願です。

審査委員は、委員長 神谷嘉栄、副委員長 上地利枝子、委員 城間真弓、山内政徳、國吉雅和、比嘉幸雄、松田昌邦で審査を行いました。

請願の内容は、沖縄の非軍事化と近隣諸国との協調に向けての意見書を政府に求める請願です。

審査の経過は、4月17日に参考人として、金城実氏、知花昌一氏の出席を求め意見を伺いました。冒頭、請願者から要望のあった3月議会の会期内で審議に至らなかった説明を委員長が述べ、請願者から内容についての説明を受け、質疑応答をしました。

この請願の提出については、決して沖縄を戦場にしてはいけないという思いからであり、さらに、日米地位協定の不平等性も訴えられた。

4月21日、5月9日は請願内容について、委員間での自由討議を行った。審査の結果は、沖縄の非軍事化と東アジアの協調を求める観点から判断する意見があった。沖縄は、78年前に凄惨な戦争を体験し、本村はその上陸地点でした。戦後は戦没者への慰霊の祈りをする日が定められ、非戦の思いが込められています。

結びに、沖縄の非軍事化については多様な意見があることを踏まえて、東アジアの緊張を高めることがなく、対話による平和的な解決を求め、請願第1号は全委員出席のもと表決の結果、賛成多数をもちまして、採択することと決しました。

以上、報告申し上げます。